

令和元年 6月14日(金)

第1回非常変災対応訓練

～ 避難集合・防災講話 ～

6月14日の放課後、火災を想定した非常変災訓練を本校で行いました。変災発生の際の防災体制を確立し、生徒の災害に対する意識を高める目的で年に数回実施しています。

14時42分、「訓練、訓練、訓練、火災発生。火災発生場所、本館4階美術教室。全員、直ちに第1体育館へ避難せよ。」(雨のため)という訓練放送があり、全校生徒、教職員が避難しました。体育館に整列し、全校生徒がいることを確認した後、松山中央消防署の方から「今までの避難訓練時にも実践してきた『押さない、走らない、喋らない』を、引き続き心がけてください。」と指導いただきました。

その後、松山市消防局地域防災課員の方による防災講話がありました。「防災についての情報を取得、そしてその情報に基づいて判断ができるように、日頃からいろいろ考えてください。」と話され、松山市民向け災害情報メールサービス『モバイル松山消防』を紹介してくださいました。

最後に、本部長講評があり、西岡誠校長が「火災は大きな脅威であると言えます。建物の構造によっては現在の消火技術でも容易に鎮火することができないかもしれません。皆さんは工業高校の生徒ですから、仕事の関係で火を扱う危険な場合があるかもしれません。いかなる場合にも対応できるよう、常に『備えあれば憂い無し』という意識を持って生活をしてもらいたいと思います。」と話されました。



避難をする生徒たち



消防署の講話・講評



避難をする生徒たち



消防署の方の質問に答える生徒たち



本部長講評をする西岡校長